

19.船員労働の概況

〔1〕 船員の最低賃金の概要

平成30年度、国土交通大臣決定の最低賃金は、遠洋まぐろ、大型いか釣りを除く業種が諮問され、改正が行なわれた。

また、九州運輸局長決定の最低賃金は、4業種全てについて、平成30年8月15日に諮問、平成31年2月13日に答申が行われ、改正に向けての作業が進められている。

(1) 内航鋼船及び木船運航業最低賃金(月額)

表-3

賃金額 適用地域	最低賃金					効力発 生年 月 日
	職員		はしけ長	部員		
		(注)若年船員			海上経験3年 未満の部員	
全国	円 248,450	円 232,000	円 —	円 189,850	円 180,550	31. 2. 23
九州運輸局	247,150	230,700	247,150	188,550	179,250	30. 5. 3

(注) 若年船員 船舶職員養成施設のうち特定の養成施設の課程を修了した後の勤務期間が、当該課程ごとに定める期間に満たない者

(2) 海上旅客運送業最低賃金(月額)

表-4

賃金額 適用地域	最低賃金		効力発 生年 月 日
	職員	部員	
全国	円 245,350 事務部職員 191,250	円 183,900	31. 1. 4
九州運輸局	242,300	174,510	30. 5. 3

(3) 漁業最低賃金(月額)

表-5

賃金額 適用地域	最低賃金(一人歩船員)					効力発 生年 月 日
	遠洋まぐろ	大型いか釣り	沖合底びき網	大中型まき網		
					特例地区	
全国	円 199,300	円 203,300	円 —	円 —	円 —	26. 12. 20
九州運輸局	—	—	181,000	193,500	179,000	30. 5. 3

※ 大中型まき網特例地区 大分県

〔2〕 船員職業安定業務の概要

(1) 求人概要

平成29年の新規求人数は、1,926人で全国の10,954人に対し、17.6%となっている。

新規求人1,926人のうち船種別求人状況は、外航部門0人、内航部門（旅客船その他を含む。）1,728人、漁船部門198人となっている。

(2) 求職概要

平成29年の新規求職数は、1,407人で全国の4,153人に対し、33.9%となっている。

新規求職1,407人のうち船種別求職状況は、外航部門8人、内航部門（旅客船その他を含む。）1,357人、漁船部門42人となっている。

(3) 成立状況

平成29年の成立件数は、214件で全国の1,101件に対し、19.4%となっている。

成立件数214件のうち船種別成立状況は、外航部門0件、内航部門（旅客船その他を含む。）203件、漁船部門11件となっている。

なお、就職の成立が不調に終わる原因は、①若年層及び中堅職員の求人に対し、求職者の高齢化（求職者のうち、53.7%が50歳以上の船員）、②労働条件（賃金、雇用期間等）の相違、③雇用条件（海技資格・経験等）のミスマッチ、等がある。

船員職業紹介実績は表-6のとおりである。

表-6 (平成29年)

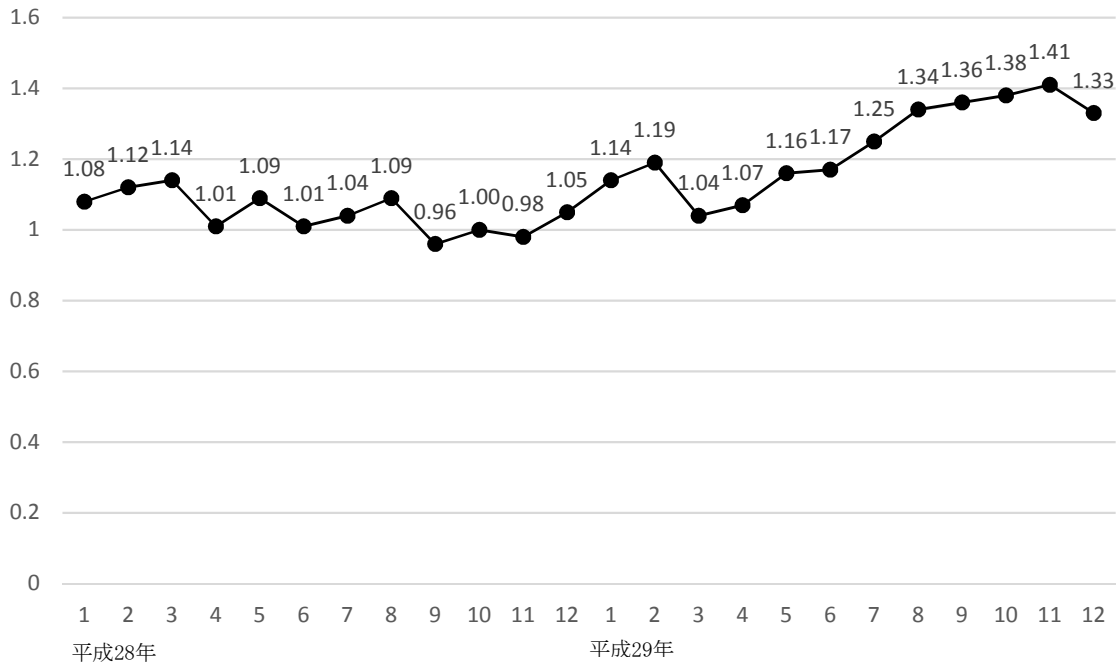
局 別 \ 区 分	新規求人 申込数 (人)	新規求職 申込数 (人)	成立数 (件)
本 局	191	223	28
福 岡	165	43	14
若 松	214	44	10
長 崎	283	222	16
佐 世 保	142	137	31
熊 本	306	127	37
大 分	246	111	39
宮 崎	21	206	7
鹿 児 島	200	177	18
下 関	158	117	14
計	1,926	1,407	214

(4) 有効求人倍率概要

平成29年末の有効求人倍率は、1.33倍であった。（有効求人倍率月別推移は表-7のとおりである。）
 全国は2.48倍で管内の有効求人倍率より1.15ポイント高くなっている。これは、管内の九州・山口地区においては、伝統的に全国船員の供給地であることから求職者が多く、有効求人倍率は全国より低くなっている。

表-7

管内月別有効求人倍率の推移



(5) 船員失業保険金支給概要

平成29年における雇用保険の失業等給付の支給延件数は、658件で全国の1,939件に対し、33.9%となっている。船種別では、商船が607件、漁船が51件となっている。

なお、失業等給付の給付金は、概ね8千9百万円で、全国の2億6千万円に対し33.8%となっており、受給者実数は574人で、全国の1,624人に対し35.3%となっている。

船員失業保険金支給実績は表-8のとおりである。

表-8

(平成29年)

局別	区分	受給者実数 (人)	支給件数 (件)	支給金額 (円)
本局		28	32	4,165,714
福岡		8	7	1,015,639
若松		24	25	3,720,805
長崎		83	96	11,658,616
佐世保		44	50	7,165,904
熊本		143	157	19,823,232
大分		46	57	8,348,779
宮崎		61	69	9,046,709
鹿児島		89	105	15,289,677
下関		48	60	8,702,635
計		574	658	88,937,710

〔3〕海技者セミナーの概要

平成30年6月13日福岡市において、船員の雇用の促進を図り、求人者と求職者を一同に集め企業説明や就職面接を集中的かつ効率的に行うことを目的とした「めざせ!海技者セミナーinFUKUOKA」を開催した。

海技者セミナーは、平成17年度の「船員就業フェア」から始まり、名称を「海へのチャレンジフェア」、「めざせ!技者セミナー」と変えて今回で14回目となる。近年は、船員志望者の裾野を拡大するために、水産系高校生等の船員未経験者を対象とした「内航船員就職セミナー」も併せて開催している。

当日は41海運事業者等と242名の海上技術学校生や水産系高校生等の参加があった。船員不足の解消のひとつとして、このセミナーがより多くの若者の就職につながることを望まれている。

開催状況は表-9のとおりである。

表-9

回数	年度	参加企業数(社)	参加者数(人)		
			学生	一般	計
1	17	20	29	35	64
5	21	20	96	30	126
9	25	24	139	28	167
10	26	25	175	27	202
11	27	24	187	43	230
12	28	35	196	38	234
13	29	38	206	55	261
14	30	41	197	45	242

(注) 学生は、海上技術学校、水産系高校、商船系高等専門学校、海上技術短期大学校、水産大学校等の在校生である。